

東日本旅客鉄道労働組合
東京都渋谷区代々木2丁目2番6号
JR新宿ビル13F 〒151-8512
Tel. 03-3375-5740 (代)
発行責任者 古川 建三

JR東労組

本部OB会

ニュース

No. 203 2014年 8月発行

大雨の中、米沢で“原発避難者支援夏祭り”

たしろ議員、若いお母さん達の声聞く

流しソーメン中止に、子供たちはガッパ

7月9日10時から山形県米沢市で仙台地本米沢地区OB会(長尾 浩会長)が、「第3回原発避難者支援夏まつり」を開催しました。この日はあいにく梅雨前線の影響で朝から雨が降っており、会場を『米沢万世コミュニティセンター』前の広場から、屋内の多目的ホールに移して開催されました。

避難者の出足は鈍かったが：

先にタオルを掛けた米沢地区のOBと、応援に駆けつけた福島支部のOBによつて、ソーメンを食べる食卓や、子供達が遊ぶ「綿菓子」や「ポップコーン」のコーナーも設置され、会場はすでに整っていました。また地元ケーブルテレビと新聞社も取材に訪れていました。

しかし開始の10時を過ぎても参加者は少なく、準備に汗を流したOB会員と手伝いの地本青年部の役員らを心配させましたが、10時30分を過ぎた頃から、小さなお母さんを抱えた若いお母さん達が雨の中集まってきました。

やつと会場は夏まつりらしく賑わい始め、子供達も流しソーメン用のセットから流れてくるスノーボールをつかまえたり、ポップコーンを頬張って飛びまわっていました。小さな子供達の遊びの相手をするOBの顔からは、汗が滴り落ちていました。

じっくり耳を傾ける たしろ参議院議員

この「原発避難者支援夏まつり」には、たしろかおる参議院議員と羽田福島市議会議員も参加し、福島県から避難してきた若いお母さん達の意見を聞きました。緊張ぎみだったお母さん



原発避難のお母さん達の声聞く、たしろ議員

達も、時間の経過と共に打ち解け始め、「借り上げ住宅の更新を長期にして欲しい」、「家族が増えて手狭になった住宅の住み替えが出来るようにしてほしい」等、避難生活の切実な要望を訴えていました。またたしろ議員も、この日は時間を充分にとっており、じっくりと若いお母さん達の避難生活の苦勞話や要望を聞きました。

地道な活動を続ける 米沢地区OB会

この日の夏まつりを実施した米沢地区OB会は、3年前から福島県から米沢市に避難してきた人達を支援し続けています。今は避難者も1/3に減りましたが、戻って被曝を恐れる小さな子供を抱えた若いお母さん達が多く残っているのです。

米沢地区OB会は、会員数が30数名の小さなOB会ですが、長尾 浩会長は「これからも避難者の支援活動を地道にやっています」と静かな口調で決意を語っていました。

第7回ブロック別地本OB会 三役会議

- ★ 東関東ブロック (水戸、千葉、東京)
 - ◆ 8月20日 13時 (本部会議室)
- ★ 西関東ブロック (横浜、八王子、大宮)
 - ◆ 8月21日 13時 (本部会議室)
- ★ 上信越ブロック (高崎、新潟、長野)
 - ◆ 8月25日 13時 (高崎地本会議室)
- ★ 東北ブロック (盛岡、秋田、仙台)
 - ◆ 8月28日 13時 (盛岡地本会議室)

JR総連OB連絡会 第11回定期総会

- ◆ 開催日
 - 9月14日(日) 13時から
 - 15日(月) 11時まで
- ◆ 場所
 - 目黒さつき会館・大会議室
- * 尚、参加者は総会終了後、15日午後の「全国高齢者集会」に参加します

営業職場OBの交流会

- ◆ 開催日程
 - 10月20日(月)～21日(火)
- ◆ 開催場所
 - 宇都宮市周辺「足尾・渡良瀬研修」
- ◆ 参加者
 - 各地本OB会3名
- ◆ 参加費
 - 一人 5,000円

新潟

総会に来ると元気になる

6月28日12時30分より支社の大会議室で、89名の参加者で「第18回定期総会」を開催しました。

来賓には宮下地本副委員長、本部OB会から竹島副会長と伊藤事務局長、県高齢者協議会から林事務局長、そして支社勤務課から奥田課長が見えられました。

5名の委員から発言がありました。

各地でOB会定期総会開催

◆ 囲碁大会にOB会のない酒田からも参加するのはうれしい
◆ 総会に参加して昔の仲間の顔を見ると、また元気になる
◆ 「我らの声」は少し厚すぎる
◆ 総会は、健康で楽しい日々を過ごすことを確認して終わりました。

横浜

講演で盛り上がる

7月12日13時30分より「平塚プレジール」で、80名の参加者で「第18回定期総会」が開催されました。

来賓には木之下地本委員長、貨物労組新鶴見分会の神谷OB会長、岡田鎌倉市議、近隣三地本OB会の代表、鉄道ファミリ、本部OB会等大勢が参加しました。発言は6名の会員からありました。

千葉

たしる議員も参加して

7月12日13時30分より、千葉市民会館で「第17回定期総会」が39名の参加者で開催されました。

来賓には、萩野地本委員長を始め、たしる参議院議員、県高退連石田会長と、本部OB会から古川会長と島崎副会長が参加しました。総会では5名から発言がありました。

新役員体制
会長 渡部 良司
副会長 細谷 邦彦
沖田 晴夫
山崎 次男
事務局 長 清田 完二

新役員体制
会長 徳永 丈男
副会長 田中 晃昇
進藤 哲也
事務局 長 杉永 哲也

新役員体制
会長 田代 多聞
副会長 斉藤 美樹
渡辺 春樹
石井 俊郎
事務局 長 扇谷 健七

わが町の有名人

OB会 今月は水戸地本OB会が、町の子供達から「おじいさん」と慕われている水戸支部OB会の前野憲治さんを紹介いたします。

町の優しいおじいさん!

前野さんは8年前にJRを退職した時、すぐさま町内会や小学校から「ボランティア活動」等の依頼がひっきりなしに舞い込んできたそうです。その時に、「ボランティア活動を

やるには、まずは健康第一だ」と一念発起して、それから毎朝5時に目を覚ますと、まず布団の上で30分程運動をするのだそうです。それから朝食をとって1時間程の散歩に出かけます。これをズーッと続けてきた結果、今まで一度も風邪もひかず、病院にも行ったことがないそうです。

そんな健康な体を生かして現在は、毎日15時と16時の2回、小学校近くまで子供たちを迎えに行く「スクールガード」のボランティアを行なっています。今ではすっかり子ども達とも顔馴染みになって、「おじいさん」と云われ親しまれています。たまに迎えに行けなかつた時には「昨日はどうしたの」と心配されるのだそうです。自分の孫もかわいいが、子供たちからも「おじいちゃん」と言われると、つい自分の孫と間違えて頭をなでしてしまう前野さんなのです。(水戸市在住・前野憲治・67歳)



千葉で念願の支部OB会を結

6月29日13時成田商工会議所の会議室において、25名の参加者で「成田支部OB会結成総会」が盛大に開催されました。

結成総会には、本部OB会の大熊顧問と島崎副会長、地本OB会の田代会長、成田支部の鳥井委員長が来賓として参加しました。

今日の結成総会のために準備を進めてきた斉藤準備委員長は、「今年の正月に結成しようと思ったが、一度流れてしまった。今日やっと念願の結成総会を向えられて本当に嬉しい。今日から語り合う場が出来たので、皆で何でも話し合おう」と、準備に携わった人たちに労をねぎらいながら、参加した会員に呼びかけました。

総会は、①多くの会員が参加できるように、春と秋にレクリエーションを開催する ②高齢者の社会保障制度を改善する等の活動方針を満場一致で採択しました。なお総会では、エルダー会員等から出向先の労働条件の改善を求める意見が出ました。

(千葉地本OB会)

役員体制
会長 斉藤 吉司
副会長 徳元 孝一
事務局 長 寺西 伸一
事務局 次長 根本 嘉夫



総会に結集した会員の皆さん (情報より)

長野地本OB会で支部間交流

熊、猪、鹿などの肉で舌鼓!

6月22日大系線白馬の地で、松本支部OB会の準備で「長野地本OB会支部間交流」が開催されました。この交流会には、女性2名と地本業務部長を加えた18名が参加しました。

各支部から駆けつけた参加者は、まずは炭酸水素塩泉で、天然掛け流しで有名な露天風呂だけの「倉下の湯」温泉に入って、日頃の疲れと汗を流しました。露天風呂からは、白馬三山の残雪が目飛び込んできて、とても印象的でした。

会場を白馬駅前の割烹「いけ」に移し、近藤会長より挨拶を受けた後、松本支部OB会の横田副会長が、熊や猪などの肉と山菜料理の説明をしました。

その後参加者は、熊肉はすき肉はジンギスカンで食べました。セリ、キャラブキ、ウド、根曲の山菜料理も、普段は中々口に出来ない味わいでした。

この松本支部OB会が呼びかける支部間交流は、長野地本OB会



OB会のタオルを掲げる参